



# ひらほく新聞

発行所 読売センター平塚北部(ひらほく)山本直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村9-4-32 電話 0463-54-2807

「ひらほく新聞」で検索!  
★感謝で継続10年 120号★  
<http://www.hirahoku.com/>  
☆ぜひ、バックナンバーをどうぞ!

## 白く無限の可能性を信じて 白く決めた人生を堂々と生きる

5月12日、知人からのお誘いで、元リッツ・カールトン日本支社長・ホスピタリティの伝道師、高野登さんのZOOM講演会(ネット上での生視聴)に有難く参加させていただきました。講演テーマは「自分が決めた人生を生きる」。元気をいただいた素晴らしい珠玉のメッセージの数々の中から、いくつかご紹介させていただきます。

### 人生はお一人様一回限り

3・11で特に知ることとなった、「人は必ず死ぬ」ということ。しかも、いつ死ぬか分からない。それが人生の真理。願わくば、自分の人生を全うしたいと皆考えているが、あらゆる予期せぬ事が起きるなかで、それは読めない。だからこそ、丁寧に生きる。自分の人生は、自分で堂々と遠慮なく企てる。だれかの人生だったらしようがないが、自分の人生だから。

### これだけは譲れないという能力

自分の中でこれだけは自分で磨き続けたいなあというものを一つつける。そして、そこを磨いていくことを絶対に諦めないで続けていく。21歳でアメリカに渡った。

が価値を失う社会。そういう時代に何が大事になっていくか。それは、「知恵」。覚えようと思っても知識には限界があるが、知恵は死ぬまで磨き続けることができる。これからは、知恵の時代。

違う言い方をすると「想像力には限界がない」。磨こうと思えば一生磨き続けることができる。

### 人生は「あみだくじ」

人生は、まるで長い、長い「あみだくじ」のように考えると分かりやすい。あみだくじに入られた横棒が、人やチャンスとの出会いと考える。この出会いをどう活かすか、あるいは、それに気づかずスルーしてしまうか。

自分の人生だから、その時その時、自分の中でそのチャンスをつかむべきだと思う時がある。その自分の感性をとにかく信じる。そして、チャンスは二度ないとよく言われるが、私はそうは思わない。

### 想像力には限界がない

世界が知識社会と言われて久しいが、誰もがアクセスできる知識社会とは知識が価値を失った社会。そして、これからどんどんデジタル化が進んでいくIT社会とは、IT

### ヨットの進む方向、行先を決めるのは何か

行き先を決めるのは、「風向き」ではなく、帆の張り方。横風で前へ進めるだけではなく、相当な鍛錬を積んでいくと吹いてくる方向へも、ヨットを進めることができる。

今回のコロナという風。帆の張り方が分からなくて、また、帆を張ることを諦めて潰れていった企業、お店も沢山ある。お金だけの問題ではないと思う。頭の中の線が切れるくらいまで考え抜いて、知恵を働かせて、いろんな業態とコラボして生き残り戦略として、あえて社会貢献を展開しているところもある。そういったところには、お客様はみな感謝してまた戻ってくる。

何が言いたいのかというと、そのくらいのある程度の資金の余裕も必要ということ。内部留保もつくれない、遊びのない会社経営ではだめだ。

### ヨットに例えて、見えてくる二つのこと。

一つは、こういう風を受けた時にどういう帆の張り方をするか。

もう一つは、風は必ず吹いてくるものだということ。風が吹くと念頭に置いて、帆の張り方とか船の頑丈さとか、そういったことを担保するための時間とお金とエネルギーをかけてきているか。今回のような騒動が2度3度と起きないとは限らない。

### セミの7年

7年も幼虫として土の中で過ごして、出てきて短い一生を懸命に鳴くセミ。その土の中を見ると、来年出てくる予定のセミが頑張っている。そしてもっと深いところには、5年後、6年後に頑張っている幼虫がいる。皆、地上に出るために、その時を必死で頑張っている。

伝えたいのは、誰にも平等に与えられた、大切な自分の時間というものがあるということ。自分がアメリカで必死に頑張った8年間、そこで使った8年という時間、そこで身につけたものに何一つ無駄になっていないものはない。そう考えると、時間をかけなければいけないことと、スピーディーにやらなければならないことを分ける必要がある。これを間違えたら大変なことになるが、やろうと思えば誰でもできることだ。

世の中の時間がないという人の特徴は何か。それはみな「時間がない！」と言い訳を言うこと。時間を上手に使い、自分の味方になりましょう。

### 仕事の選択

自分の力量を知り、自分の力量にあった仕事を探して決めるのか、その仕事に見合った力量を身につける方を選ぶのか。選択肢は2つ、どちらかしかない。当然ながら、後者を。

最後にずっと大事にしているメッセージ。年齢にかかわらず、自分の可能性を絶対に舐めるな!



☆8年ぶりの感動の拝聴後、すぐに一筆啓上。体験からの教え、学びは、大変に分かりやすく、そしてとても重みがあるものでした。今回、ご縁有難くシェアさせていただきました。

# ひとりの人生を好転させる

## 陽転思考 考え方はひとつ

2005年、本屋さんでふと手に取った本で、まさに私の人生も変わったと思う。その書籍は、和田裕美著『世界NO.2セールスウーマンの「売れる営業」に変わる本』。

「陽転思考」という思考法にどっぷりハマリ、和田さんの講演会やセミナーにも多数参加。自身の思考法に大きく影響を受けてきた。

先月、和田さん発案の「人生よかったカルタ」が、テレビや新聞で多数取り上げられていると知った。「よかったカルタ」とは、「マイナスをプラスに変換して答える」ユニークな遊び。大人版、子ども版、おじさん版と3種類があり、読まれた絵札を見つけたら、「よかったー」といって絵札を押さえる。他の人がどうしてですか？と問いかけ、取った人は「なぜなら〇〇だったから」とプラスの理由を見つけて答えるという簡単なルール。たとえば、こども版で、

「な」の読み札には「仲間はずれになってよかった」と書いてある。回答例としては、「ひとりぼっちの気持ちがあつたから！」というような感じ。

多くの札は、ネガティブな物事ばかり、そして少しだけ「生まれてきてよかった」というような「自己肯定カード」も含まれている。

日刊スポーツ紙では、「経営の神様と呼ばれた松下幸之助さんも取り入れていた『陽転思考』をベースにしている。コロナの影響で学校が臨時休校になったのを機に、「こども版」が再びクローズアップ。コロナ禍は、「心の持ち方」という脳トレの絶対好機でもある」と紹介している。

### 「陽転思考」とは？

陽転思考とは、脳の考え方。考え方のクセをどうやったら変えていけるかを身につけていく。これは、ポジティブシンキングとはだいぶ違う考え方。

物事にはプラスとマイナスがある。ポジティブシンキングでは、プラスを見るようにして、マイナスは見ない。一方、陽転思考では、プラスとマイナスの両方を見て、どちらがいいか自分でチョイスする方法を探る。もしくは、あたかも100%マイナスしか見えない物事からプラスを探して、そこからマイナスとプラスをもう一度見直して、どちらがいいか自分でチョイスする考え方。

い物事からプラスを探して、そこからマイナスとプラスをもう一度見直して、どちらがいいか自分でチョイスする考え方。

### ひとつの事実からふたつの人生

ここに二人の男性がいたとする。AさんもBさんも仕事で大失敗。二人とも上司に叱責され、「あーもうおしまいだ。クビになるかもしれない」ととても落ち込んでいた。

Aさんは自分を責めて、次の日も「自分なんか、どうせダメなんだ・・・」とへこんだまま会社に行って、やる気なさそうに無表情になつていたら、周りの人もAさんに話しかけにくく、だんだんAさんを疎ましく思うようになった。

Aさんは孤立して、さらに人と話すのが嫌になり、そのせいで余計に、一人で仕事を抱えすぎて処理できなくなり、また小さなミスをしてしまった。そして、自然と自分の居場所がなくなり、ますます嫌になってクビになったのではなく、自分で辞めていった。

今度はBさん。同じように落ち込んでいたBさんだが、泣いても怒っても事実は同じだと思いい、「失敗したという事実

を変えられないんだから、ここから何を学んだか、何かいいことを探してみよう」と決心した。

「今まで過信していたからだ。これ以上悪くなる前に問題が発覚してよかった」「これは大きな失敗だけど、ここで気が付かなかったらもっと大きな失敗をしたはず。今のうちに、気が付いてよかった」

「自分の不注意から、人に迷惑をかけた。今後そういうことがないように、自分が有頂天だったと気付かせてくれたメッセージだと思おう」

「つらいけど人に謝ることを教えてもらってよかったじゃないか。ここで素直になつて、感謝しよう」

そして彼は思った。「明るく出社して素直に謝つて、新人の頃のように初心に戻つてやりなおそう。きつとそんなチャンスをもたらつたのだ」

会社に行つたBさんは明るく挨拶し、上司に謝罪。すると上司も、「昨日は言いつた、私の指示もよくなかったのだ」と言ってくれた。元気に出社したBさんを見た同僚たちが集まつてきて、「がんばろうな」「明るい顔して来たから、さすがだ」と話しかけて、ますます頑張ろうと思つた。

同じようなひとつの事実から、違うふたつの人生が見える。Aさんの人生、Bさんの人生。どちらの人生がいいですか？

### コロナ禍に よかった探し

緊急事態宣言が全て解除されましたが、クラスターが発生や第2波の感染拡大等、また経済情勢含めまだまだ心配な状況が続きます。そんななか、紹介の上記書籍（初版2009年）に『この不況の時代に生き抜いてよかった』という思考パターン」という項目がありました。（紹介します）

- ① 創意工夫が生まれやすい
- ② 新たなビジネスチャンス
- ③ 自分を磨くタイミング
- ④ 自分の軸がしっかりとくる
- ⑤ 「思いやり」が増える

不況の中に「よかった」がないか・・・探してみたらもっとありそうです。そうやって探している間に、時代はどんどん進んでいるのです。どうせなら、ワクワクした未来を信じていきたいですね。

私の尊敬する、貧しい人たちのために人生をかけている方もこうおっしゃっていました。「確かにこの不況の時代は大変な時代です。しかし恐れてはいけません。これは変革のための最大のチャンスなのです」  
(ムハマド・ユヌス)

### 編集後記

自分にとつての「コロナ禍よかった」の一番は、何より毎日続いた家族が揃った団らんの食卓時間だった（元の日常に戻るのも寂しい）。そして、業務自粛のなかで社員を交替で少しでも多く休ませるべく、自分がかかると休まず、産直品がほとんど休まず、産直品その他物販品のお届けも半数以上廻ることができ、有難く多くの皆さんとお目にかかることができた。折込収入の8割減の苦境のなかでも「忙しくてよかった」。以前より十分な睡眠が確保され、早寝早起きで生まれた時間で、いくつか挑戦を始めた。これはアップルペンシルで描いた筆文字。



人間は本能的に、命を守るために、怖いとかネガティブな思いを持って生まれてくる。だから、こうした時代こそ、『陽転思考』の「よかった探し」思考法をぜひ身につけてほしい。人生のあみだくじの大きな横棒の一つに感謝を込めて。

人生を好転させる  
新・陽転思考

和田裕美

ビジネス界のベストセラー作家の代表作、待望の文庫化!!  
本を読んだくらいで人生が変わるわけがない!!

「...と思っているあなたへ、あなたの人生を確実に変える思考法を一緒に学びましょう。」

文庫版600円+税

